



介護の「みらい」話 よもやま話

みなさんこんにちは。先月は混合介護と介護保険負担割合についてご説明をさせて頂きました。これは個人の意見となりますが、介護保険制度は柔軟に利用できる制度となるべきだと感じます。
それは、現場で起こっている事は幸せな家庭からでは想像もつかない事もあるからです。

●夫婦(要介護状態)2人暮らしのIさんの場合(ケアマネジャーAさん談)

私は要介護状態で夫婦2人暮らしのIさん夫妻の担当ケアマネジャーをしております。

夫は84歳で脳梗塞後遺症により左



〈介護屋 宮崎〉
代表取締役社長
宮崎 直樹

ケアマネジャーが見た 介護現場の実情

半身麻痺。妻は79歳でレビー小体型認知症を発症しております。夫は要介護3で、妻は要介護2の状態での2人暮らしです。

2人は地方で生活をしておりまして、2人とも介護が必要な状況になり、東京に住む長女が2人を呼び寄せての生活が始まりました。

しかし、長女も2人の息子を持つシングルマザーで子どもたちも5歳と8歳で子育ても大変な時期。また、一家の大黒柱なので、仕事もされていまして。さらに小学校PTAも行いまさに孤軍奮闘といった様子でした。

なかなか珍しいケースと思われる方もいらつしやるかもしれませんが、もっと大変な方も沢山出てくる書面に表せない家庭事情の方も多々あります。

その中で、長女の心労がたたりとでも両親の介護を出来るような状態では無くなりました。Iさん夫婦が選択した決断は夫婦2人で生活をする決断をしました。

今、2人は年金と貯金を少しずつ切り崩しての生活をしているので、必要最小限の介護保険の支援を受け

ての生活です。

半身マヒの夫には筋力低下予防のリハビリが必要です。認知症の妻には他者との交流の為の場が必要です。デイサービスも無料では無いです。1回昼食込で1500円前後はかかります。二人は金銭を気にして参加を控えています。これにより筋力低下や認知症進行が心配されます。また、特別養護老人ホームへの入居申し込みはしていますが、要介護3では順番が回ってくることは難しいです。

介護保険だけでは、問題解決が出来ない介護問題はたくさんあると思います。全国各地で介護を苦し



家族に負担はかけられない...

い事件が多く発生していますが、地域の繋がりによって助けられる人たちも大勢いると感じています。介護に携わらない方も福祉の事にご興味を持って頂ければと思います。

そして、最後に少しでも介護現場にご興味がある方は、週1回でもいいので、アルバイトでもボランティアで介護現場に来ていただけばと思います。介護現場は人材が不足しております。資格が何もお持ちでなくとも、施設等では働くことも出来ます。皆様か介護現場に来てくださることを介護事業所はどの事業所もお待ちしております。

「御礼」

6月18日船橋市議補欠選挙が実施されました。そこで立候補をさせて頂きました。応援やご協力をしてくださった方や投票をしてくださった方、また船橋市民の方々にはご心配やご迷惑をおかけしました。この7月号の原稿は選挙結果が出る前に校正が終了しているので、自分自身もどのような結果が出ているか楽しみです。どのような結果になってもこの介護の「みらい」よもやま話は続けさせて頂きますのでよろしくお願い致します。

ケアマネ介護のお悩み相談会



現場で頑張るあなたの
お悩みは？

仕事内容

勤務時間

給料

続けられる？

将来

どこまで関わればいいの？

7/27 木

10時～11時

会場 / 介護屋みらい (右記参照▶)

定員 3人

相談会申込は

☎047-404-2660



住 船橋市薬円台 4-16-4-202

☎ 047-404-2660



年間1300人のケアマネに講演する宮崎代表がマンツーマンであなたの介護の悩みを聞きます！

講演実績 「ストレスを貯めず、効率よく仕事する方法」
～段取り8割、実行2割～